

京都大学大学院人間・環境学研究科附属学術越境センター

2024年度第1回「Field Encounter」芦生

テーマ：「美山町の自然の保全と利用、芦生研究林における研究活動を学ぶ」

概要：UNWTO（国連世界観光機関）第1回「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」に選出された美山町の観光によるまちづくりや自然の保全の具体策を学ぶ。国の重要伝統的建造物群保全地区に選定された「美山かやぶきの里」の景観保全の試みを知る。京都大学フィールド科学教育センター芦生研究林を訪問し、資料館では人と自然の持続的関係の過去と未来を考える。また研究林内を実際に歩きながら、生物相、生態系、森林機能に関する研究活動の概要を知る。また観光客のインパクトを抑えながら文化的サービスを提供するためのゾーンニングや、シカの食害からの生態系保全の現状を見学して、環境変化・攪乱の影響評価法・保全について学ぶ。

実施日：2024年10月21日（月）～22日（火）

人数：5～10名

移動手段：レンタカー

宿泊先：芦生山の家 <https://www.ashiuyamanoie.com/>

費用：参加者負担なし

<事前学習>

・芦生研究林の石原・松岡先生より概要説明の後、美山町や芦生研究林について各自の準備発表を聞いて議論をする（日程については参加者決定後に確定）

<1日目>10/21(月)

- 9:00 京都大学出発（レンタカー・教員運転予定）
- 10:50 道の駅美山ふれあい広場・国定公園ビジターセンター着
- 11:00 京都丹波高原国定公園もしくは観光まちづくりについて講義（座学）60分
- 12:00 昼食+道の駅自由見学
- 13:00 安掛発
- 13:10 かやぶきの里着、ガイドツアー60分+自由見学30分
- 14:45 かやぶきの里発
- 15:15 芦生山の家着、チェックイン

16:00 京都大学より芦生研究林に関する講義 90分程度  
18:30 夕食  
20:00 旧芦生分校にてディスカッション 60分

<2日目>10/22(火)

7:30 朝食  
8:30 芦生山の家出発、芦生研究林へ移動  
9:00 芦生研究林事務所着、芦生研究林バスにて林内へ移動  
10:00 バスをおりて、教員案内による研究林内での実習  
12:00 昼食  
13:00 バスにのって、芦生研究林事務所に下山  
14:00 講義室談話室にて質疑応答・ディスカッション 60分  
15:00 芦生研究林から京都大学に向けて出発（レンタカー・教員運転予定）  
17:00 京都大学着

<持ち物・注意事項>

・芦生研究林内での実習時には、長靴、ヘルメットなどが貸し出されます。林内は長袖シャツ、長ズボンを着用してください。かやぶきの里の見学のため、帽子、歩きやすい靴、水筒、傘などは各自用意してください。  
・写真撮影については、基本可ですが教員の指示に従ってください。許可なく SNS などにはアップしないよう注意してください。ノート・筆記用具・PC は各自持参してください。

担当者：

京都大学大学院人間・環境学研究科附属学術越境センター

縄田 浩志

京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林

石原 正恵、松岡 俊将

一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会

井本 環

問い合わせ先：縄田 [nawata.hiroshi.6y\\_at\\_kyoto-u.ac.jp](mailto:nawata.hiroshi.6y_at_kyoto-u.ac.jp) (Replace \_at\_ with @)